

# 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長: ジェニファー E. ジョーンズ  
 第 2550 地区ガバナー: 佐貫直通  
 事務所: 〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15  
 ペルヴィ宇都宮内  
 TEL: 028-651-2550  
 FAX: 028-651-2551  
 E-mail: [m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp)



会長: 植竹一裕 幹事: 大島三千三  
 事務局: (有)大島商店 大島三千三  
 代表取締役 那須塩原市笹沼262  
 〒329-3155 那須塩原市大田原1-1-1  
 TEL: 0287-65-0863 FAX: 0287-65-3381  
 E-mail: 3003@mvp.biglobe.ne.jp  
 例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日  
 12:30 - 13:30  
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2986回 植竹年度第22回例会会報 2023-2-1 司会 吉光寺政雄君

## 誕生祝い

村山茂君・田中徹君・秋間忍君・  
 (和気勝利君)



○ 帝国造林株式会社 大田原森林組合  
 代表 植竹雅弘 様

## 結婚祝い

荒牧明二君・鈴木隆子君・安藤譲治君



## マスク贈呈

- 那須塩原市 商工会長 鈴木耕二 様
- 大田原森林組合 代表 植竹雅弘 様

## 本日のお客様

- 国際ロータリー第2550地区  
 2022~23年度交換留学生  
 ヘイデン・ロバート・ミッシェル君

## デジタルフォトコンテスト表彰

- 優秀賞 井出 法 君

出席報告 黒澤洋一委員長 (出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 2月1日	35(8)	29(4)	6(4)	93.5%	—	—
前回 1月25日	35(8)	25(3)	10(5)	87.9%	3	93.3%



マスク贈呈 那須塩原市商工会様



マスク贈呈 大田原森林組合様



デジタルフォトコンテスト表彰

 会長挨拶 植竹一裕会長



以前当クラブに寄付されましたマスク

106,200枚ですが、那須塩原市・那須町の役所へ問い合わせたところ備蓄マスクが潤沢にあるという事で他の寄贈先を模索しておりましたが、本日13:30に那須塩原市商工会へマスクを寄贈する事になっております。他に本日外来卓話をお願いしている森林組合さんを始めシルバー大学校・太陽の里福祉会・子ども食堂などに合わせて26,400枚寄贈しております。約80,000枚在庫がありますので、寄贈先のご紹介をよろしくお願いいたします。

前回の例会日の1月25日は、お隣の大田原市が氷点下16.3℃を記録して全国的にもニュースになりました。黒磯地区もそれには及びませんが氷点下13.7℃を記録して観測史上最低を更新しました。ちょうど今年の二十四節気(にじゅうしせつき)の大寒が1月20日～2月3日とされており、旧暦に当てはめるとピタリと当たっている様に思います。

各地で水道管の凍結や破裂が起こり、多くの方が苦労された事と思います。私もその中の一人になります。会社と娘の家で水道管が凍結し、破裂に至らなかった事がせめてもの慰めでした。クラブメンバーの皆さんの中にもご苦労された方がいらっしゃる事を耳にしました。大変お疲れ様でした。

今日から2月になります。この2月というのは不思議な月で、ご存じの様に4年に一度の閏年が入る月になります。現在では1年=365日となっていますから30日の月を7ヶ月31日の月を5ヶ月にすれば均等になりますし、日数の調整をするなら年初めの1月や年末の12月の方が適切と思いますが、何故2月に調整が入って28日になっているのでしょうか？

その昔、世界各国で暦の作り方はバラバラでした。大きく分けると太陽暦と太陰暦に別れます。太陽暦は地球が太陽の周りを約365.25日で1周する事に基づいており、4年に1度の閏年が組み込まれる訳です。太陰暦は月の満ち欠けが約29.5日で一巡する事に基づいており、そうしますと1年が354日となり、約10日のズレが生じます。閏月を入れる事でこれを調整しています。江戸時代まで日本がこの方法を採用していました。

現在は殆どの国が太陽暦で生活をしており、閏年がオリンピック開催する年となっています。今の暦の原点は古代ローマの時代に遡ります。古代ローマ暦は農耕暦が基本になっており、この暦を制定したのはユリウス・カエサル=ジュリアス・シーザーで、彼がこれまでの年の始まりが現在の3月であったところを、1年の始まりを1月に制定しました。それでは英語の月を思い出して下さい。決して数字ではありません。それぞれの月の名前の語源を説明します。

- ・1月 ローマ神のヤヌス(Janus) 前後に顔を持ち、入り口と出口を司る門の神、1年

- の始まりを守護する神
- ・2月 当時、畑仕事のない1・2月は「死の季節」とされ、ある意味空白期間でした。前半の1月はヤヌスを崇め、後半となる2月に慰霊祭「フェブルアーリア (Februalia)」が催されました。
  - ・3月 軍神マルス (Mars) 気候が穏やかになりローマ軍が軍事活動を始める時期、農作業も始まることから農耕の神としても祀られました。
  - ・4月 草木が芽吹き、花々が開く季節から、「開く」を意味するラテン語「Aprilis」を名称とした。
  - ・5月 豊穡の神マイア (Maia)
  - ・6月 結婚や出産を司る神ユノ (Juno) ジューンブライドもこれに由来
  - ・7月 ジュリアス・シーザー (Julius Caesar) の誕生月 本人が命名
  - ・8月 シーザーの後を継いで、初代ローマ皇帝になったアウグストゥス (Augustus) の誕生月でシーザー同様に自ら命名
  - ・9月～12月 ローマ暦は農耕暦ということもあり、農作業が始まる3月から数えて7番目となる9月、ラテン語の「7」を意味する (Septem) 10月が8を意味する。

(Octo) 11月が9を意味する (Novem) 12月が10を意味する (Decem) となります。現在の9月から12月がラテン語の7から10の意味に昔は3月が1年の始まりである事が分かります。しかし前半はそれなりの由来がありますが、後半は力が抜けた名称に感じます。

ローマ暦は農耕暦が基本となっているため、3月がスタートで2月が年末という考え方でしたから年間の日数の調整を全て2月で調整するために2月が例外的に28日となったようです。結構良い加減な決め方をしたと思いませんか？もちろん諸説あるそうです。

それに比べると1月から12月という数字で表す暦に我々は慣れてしまっていますが、日本の暦である和風月名は季節感のある素敵な呼び方だと思います。いずれにしても1年で一番日数の少ない月が始まりました。感染者数も右肩下がりの傾向となりつつあります。まだまだ寒い日が続きますが春はもうそこまで来ています。短い1ヶ月を有意義に過ごしましょう。

## 幹事報告 大島三千三幹事

1. 1月18日の理事役員会で新入会員候補者の入会を承認致しました。その事に対し、この入会に異議のある会員は、ございませんでした。よって会員全員の承認を確認致しました。入会を薦めて下さい。
2. 本日の例会終了後、理事役員会を開催いたします。



## <理事役員会議事録 (2月1日) >

1. 1月のプログラムについて
  - 3月1日例会外来卓話 講師 那須野ヶ原郷土史研究会会員 野崎賢治様 承認
  - 3月15日例会外来卓話 講師 (株) UI支援コンサルティング 代表取締役伊藤一嘉様 承認
  - 3月29日例会の内容について SAA田中委員長が計画 承認
2. 交換留学生・ヘイデン君のROTEX主催事業へ参加費20,500円支出の件 承認  
イベント名・那須スキー&温泉トリップ  
協力・黒磯RC 担当・青少年奉仕委員会  
日程・R5年2月11日 (土) ~12日 (日)  
場所・マウントジーンズ那須 ホテルエピナール那須  
主催・ROTEX  
参加者・ROTEXメンバーと2550地区交換留学生6名
3. 黒磯ロータリークラブ慶弔規定一部追加の件  
第2条の3) 会員歴10年以上の退会者が死亡の場合・生花と香典10,000円を贈呈する。 承認
4. 会員の皆さんへ、例会にズームでの参加希望者は、ズーム案内メールに参加する旨をメール等で連絡 (返信) する事を要望致します。合わせて、事前準備や食品ロスを軽減する為にも欠席連絡の徹底をお願い致します。 承認

## 委員会報告 藤崎善隆副会長

### ○ 社会奉仕委員会 鳥居輝一委員長

社会奉仕委員会からのご報告になります。マスクの配布先が皆様のご協力により、着々と進んでおります。

今日までの中間報告ですが、主に配布先を申し上げますと、「那須塩原市森林組合・3千枚」「シルバー大学・1万3千800枚」「太陽の里 (障害者福祉施設) ・3千枚」そして本日「那須塩原市商工会・3千枚」で合計2万



委員会報告 藤崎善隆副会長



社会奉仕委員会 鳥居輝一委員長

6千4百枚となっております。  
引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。  
なお、只今データ表を回覧しておりますので詳細をご覧ください。  
以上になります。

(2022-2023)		KRC 社会奉仕委員会 マスク配布控え		P-1/1	
植竹一裕年度		(300/箱)		令和5年2月1日 現在	
月	日	担当会員 (箱)	数量(枚)	残数	配 布 先
8	19		354	106,200	
12	14	鳥居	1 300	105,900	サンプル
12	24	安藤	2 600	105,300	子ども食堂
1	19	澤田	5 1,500	103,800	那須塩原市森林組合
1	19	藤崎	1 300	103,500	日蓮宗 専売院
1	21	黒澤	4 1,200	102,300	シルバー大学写真部09会
1	24	鳥居	2 600	101,700	旭商店会
1	24	平山	6 1,800	99,900	那須塩原市商工会
1	24	黒澤	10 3,000	96,900	シルバー大学09会
1	27	黒澤	32 9,600	87,300	シルバー大学09会
1	30	平山	4 1,200	86,100	那須塩原市商工会
1	30	鳥居	5 1,500	84,600	かんすい苑 夏妻
1	31	澤田	5 1,500	83,100	那須塩原市森林組合
1	31	大島	10 3,000	80,100	社会福祉法人 夫婦の里福祉会
2	1	鳥居	1 300	79,800	KRC2/1卓話書(植竹) 謝礼品
小 計		88	26,400	79,800	

○ 旅行愛好会 高木慶一会長



1月28日役員会を開催いたしました。  
コロナウイルス感染が始まったのが令和2年1月ですからまる3年が経過いたしました、今年こそ旅行再開できるのではないかと思います。身延山、久能山東照宮、米山梅吉記念館など静岡方面6月3日4日と日程を決めましたので、愛好会会員の方は日程に入れておいて下さい。詳細は次回役員会で決定します、内容が決まったら募集の案内を出します。  
宜しくお願いします。

○ クラブ史料委員会 安藤譲治副委員長



クラブ史料委員会の安藤です。  
先週の例会で、NPO法人子どもの育ちを応援する会の理事長吉成晴香様に卓話を頂きました。  
例会後皆様からご寄付を頂き、16,000円集まりました。  
後日、吉成様にお渡ししましたのでご報告いたします。  
本当にありがとうございました。

😊 ニコニコボックス 佐藤博委員長

- 永山三芳君 鬼は外、福は内
- 安藤譲治君 結婚祝ありがとうございました。



スマイルボックス委員会 佐藤博委員長



本日の卓話

大田原森林組合 代表 植竹雅弘 様

講師紹介

国際奉仕委員会 澤田吉夫委員長



委員長澤田吉夫、副委員長に瀬尾紀夫さん、委員に戸野俊介さん、泉道夫さんの4名です。

本日は外来卓話者として、いつも御一緒に活動させていただいております、植竹雅弘様をお迎えしております。

植竹様は幅広く事業を経営されております。2/19に開催されます、ロータリーIMの会場でお世話になります、花月の経営をはじめ、各地での太陽光発電などもやっております。

皆様ご存じの帝国造林、それに今は大田原市の森林組合長など多くの経営に携わっております。

そんな中本日はわかりやすく山林の事に対してご説明をいただきます。

卓話

皆様こんにちは、只今ご紹介頂きました大田原市黒羽の帝国造林の植竹雅弘と申します。

地元の森林組合の組合長も務めさせて頂いております。本日はお招き頂きありがとうございます。

本日は林業についてお話しをさせて頂きまず、お手元に資料を配布させて頂きましたが、

林業についての基本的なことを話してくれないかとのことで、インターネットから解かり易い適当なものをプリントアウト致しました。林業の初歩ということですが、私も役目上時々林業の話をしてくれと頼まれるのですが、その時に皆さんのお話を伺いますと「林業というのはきこりが木を切ること」といった程度で意外と細かいことはご存知ない方が結構多くいらっしゃるものですから、今日は初歩の初歩をお話しします。そんなことは知っているよという方も当然いらっしゃると思いますが一からのお話を簡単にさせて頂きます。

それではお手元の資料で「まず林業って何だろう？」というのが一枚目にあります。



まさしく林業というのは木の業、農業というのは田や畑の農地に野菜の種をまいたり稲の苗を植えたりして、そして一年かけて育てて収穫する。中には何ヶ月かで収穫できるものもありますが、この様に農作物を収穫するのが農業、林業というのは山地に木の苗を植えてこれを育てて収穫する、根本的には第一次産業ですから農業と同じですが、林業は何が違うか？まず大きく違うのはそのサイクル、先程言いましたが農業は数ヶ月から一年で収穫できますが、林業の場合は苗を植えてから50年から60年経ってようやく収穫できる、そういった気の遠くなる様な業であります。

まあ、林業、「業」とはいつておりますが、実のところは今の林業、木を植えて伐っても赤字なんです。収支がマイナスなんです。ただ環境問題、二酸化炭素の吸収等がありますので、国のほうで補助を出すからなんとか山林を維持しなさいということで、その補助金を頂いてそれでやっとなり立っている。つまり補助がないと成り立たないということは本来は「業」ではないというのが実態です。

それでは実際の林業ですが、資料の二枚目をご覧ください。

「林業の仕事の流れ」が載っていますが、まずは本来ですと植付けのところからお話しをするのですが、皆様がよく目にするのは丸太を運んでいるトラックではないかと思いま

す。そのトラックがどこから来るのかというと、先程お話しした50年60年かけて収穫期になった木を伐採して、3mとか4mとか決まった寸法に切った丸太を山から運んでいるのです。皆様、林業というときこりを想像されると思いますので、まずはその木を伐るところから先に話しをさせていただきます。

50年60年経って胸の高さの直径、我々は胸高直径と言います、だいたい30cmぐらいになった木を伐採するわけですが、その伐期になりますとその山全山、全ての木を伐採します。伐採した木は一定の寸法に切って、トラックに載せて製材所とか木材市場に持っていきますが、その伐採後からが林業サイクルのスタートとなります。

まずは植付けですが、その前に①の地ごしらえというのがあります。これは⑦の主伐で全木伐採するわけですが、当然木には枝や葉があり先は細くなっています。丸太として使えるところは幹の太い部分だけで、あとはいらないので山には枝や葉が大量に残る。そういった残置物があると植付けができないので、その残置物を寄せて集めて植えるスペースをつくるのが地ごしらえです。

地ごしらえしてきれいになったところに新植する。つまり苗木を植えます。以前は一反(1,000㎡)に300本一坪に一本、1.8m間隔で植えるイメージです。今は補助の関係で一反当たり240本植えることになっています。それと苗木ですが、これも以前は種をまいて育ったのを使ったのですが、今はコンテナ苗といって水耕栽培で根を円筒状にしたものを苗木屋さんが作って、これを道具で地面に穴をあけたところに挿し入れて植えます。苗はコンテナ苗でも種から作るいわゆる実生ですが、九州辺りでは挿し木で作っているところもあるようです。実生からだいたい2年かけて植えられる苗を作ります。それと本当に初歩的なことを申しますが、樹種は杉と檜です。杉や檜は真っ直ぐに伸びる習性があるので建築材として使われます。以前は松も植えました。山によっては広葉樹のナラやクヌギを植えます。これは椎茸栽培のほだ木等になります。

植付けの次は下刈りですが、どうして下刈りをするかという初め植えた苗は50cmぐらいの大きさです。当然山に植えますから周りに草が生えてくる。草は木の成長より一年間で伸びるスピードが早く、夏には苗木より草のほうが背丈が高くなる。そうすると苗木に日光が当たらなくなり光合成ができなくなって、そのままにしておくと枯れてしまう。資料には1年から7年とかいてありますが、我々は、補助金の関係もあり5年間下刈りをします。5年しなすと生える草より苗木のほうが背が高くなりますので、下刈りをしなくても

陽が入ってその後はすくすく育ちます。

次の除伐ですが、農業でも間引きを行う様に成長に伴って横の木と枝葉が重なってそれぞれ充分に陽が入らなくなるので、適度に間引く。これが除伐とか間伐といわれる作業です。

⑤の枝打ちですが、今やっているところはほとんどありません。どうしてやらないかというこれは単純な話で、現在の建築工法が変わってきて柱や梁が壁に隠れてしまう。それで枝打ちをしてきれいな材を作る必要がない。枝打ちにかけた費用分より材が高く売れないのでやらなくなりました。

間伐も除伐と同じで、残す木を成長させるために行う。そして50年60年経って全部の木を伐採して販売する。その後地ごしらえをしてまた植付けをする。その繰り返しで、50年60年のサイクルで継続して行うのが林業ということです。



最後に林業における経済的な話お金の話をします。私が林業を引き継いだのは20数年前ですが、その当時は一町歩つまり1haの山林を皆伐すると、皆伐というのは全部の木を切ることですが、伐採経費、販売経費を差し引いて山主さんの手元に残るのがだいたい100万円位でした。10分の一の1反の山だと10万円です。

そこから再生林つまり植付けをするとう

なるか？前にも言いました通り1反当たり300本を植えますので、苗木代が1本120円それだけでは36,000円になります。地ごしらえ、植付けに4人手間かかる。当時の1人工が約15,000円ですから手間賃が60,000円、苗木代と足すと96,000円、ほとんど手元に残らない。さらに下刈りをする。多少の補助が出ますが5年間毎年5,000円の持ち出しになる。ただ造林に対しての補助が7万円位出ますので多少は残りますが、万一のために森林保険をかけるとこれまたほぼお金が残らない、という様な状況でした。

要は3代2代前のご先祖様が植えた木が60年経って伐採して、新しい苗木に変わっただけということです。

ただ最近ウッドショックで木材が品薄になり価格が多少上がったり、補助が手厚くなってきましたが、いずれにしても非常に厳しい業界であることに変わりありません。是非とも皆様には現状をご理解頂いて、地球環境保全のためにも林業に関心を持っていただくと幸いです。

できれば実際に山林を所有して頂けると大変ありがたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



SAA担当 吉光 孝政 副SAA



出席報告 鈴木 久雄 出席副委員長

2月1日欠席者（敬称略）  
荒井昌一 泉道夫 戸野俊介 石山桂子  
和氣勝利 瀬尾紀夫

前回1月25日分メイクアップ（敬称略）  
石山桂子 高木茂 澤田吉夫

次回例会 令和5年2月15日 地区情報 村山茂会委員情報委員

近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル花月 0287-54-1105
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：秋間忍・村山茂・和氣勝利・瀧田雅仁